

キャッシュレス化の推進について

R4.10.20 長野県公共交通活性化協議会決定

企画振興部
交通政策課

1. 本協議会での検討経過

(1) 目指す姿

「県内全域で、誰もが交通モードにかかわらずシームレスに公共交通機関を利用できる決済環境」

(2) 決済方式

「地域住民のみならず、全国（海外）から訪れる公共交通利用者が容易に使用可能な決済手段」として検討を進めてきた。

2. 取組方針（案）

「本協議会として路線バスに導入を進める決済方式について、地域連携ICカードを基本とする」

- ・広く普及するSuicaが使える、路線バス及びJRの定期券としても使用可能な現在唯一の決済方式である
- ・高速な決済処理が可能
- ・地域独自のポイント等、機能付加が可能

「長野県として、交通事業者に対し、導入費用の1/3を補助する方向で検討」

- ・導入及び維持に係る費用が高額であるなか、複数の交通モード間の接続の利便性を考慮したうえで面的に推進することが重要であることから、行政が導入を進める決済方式について方向性を示すこと及び導入に係る財政支援をすることが必要

※合わせて国庫補助（補助率1/3）を活用可能

3. 今後の予定

交通事業者、市町村、県が連携を密にし、具体的な導入について検討を開始

1

1

路線バスで10カード（※）が利用可能な地域

企画振興部
交通政策課

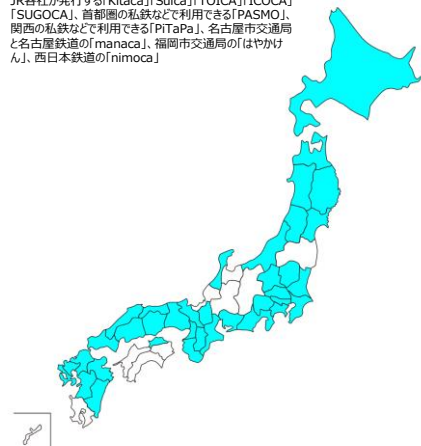
※10カード（交通系ICカード全国相互利用サービス）

○下図の10種類の交通系ICカード

- ・10種類のうちのカードを所持していても互いのICカードエリアで利用可能
- ・10カードの利用を受入れている独自ICカードエリアでも利用可能



JR各社が発行する「Kitaca」「Suica」「TOICA」「ICOCA」「SUGOCA」、首都圏の私鉄などで利用できる「PASMO」、関西の私鉄などで利用できる「PITApa」、名古屋交通局と名古屋鉄道の「manaca」、福岡市交通局の「はやかけん」、西日本鉄道の「nimoca」



都道府県庁所在地において、交通系ICカード全国相互利用サービス（10カード）を路線バスで利用することができないのは、本県を含む**10県のみ**

地域	県名
北海道	—
東北	福島県
関東	—
北陸信越	富山県、長野県
中部	福井県（R6導入予定）、岐阜県
近畿	—
中国	—
四国	徳島県、愛媛県、高知県
九州	鹿児島県、沖縄県

2

2

地域連携ICカード導入事例

企画振興部
交通政策課

県名	カード名称	サービス開始日	事業者名
青森県	AOPASS (アオパス)	令和4年3月	青森市企業局交通部（公営企業） 青森市 シェイアールバス東北㈱
	ハチカ	令和4年2月	八戸市交通部（公営企業） 岩手県北自動車㈱
	Towada SkyBlue Pass (トワダスカイブルーパス)	令和4年3月	十和田観光電鉄㈱
岩手県	Iwate Green Pass (イワテグリーンパス)	令和3年3月	岩手県交通㈱
	IGUCA (イグカ)	令和4年2月 令和4年3月	岩手県北自動車㈱ シェイアールバス東北㈱
秋田県	AkiCa (アキカ)	令和4年3月	秋田中央交通㈱ 秋田市
	Shuhoku Orange Pass (シュウホクオレンジパス)	令和4年3月	秋北バス㈱
★ 山形県	yamako cherica (ヤマコウチェリカ)	令和4年5月	山交バス㈱ 山交ハイヤー㈱ 米沢市
	shoko cherica (ショウコウチェリカ)	令和4年5月	庄内交通㈱
栃木県	Totra (トトラ)	令和3年3月	関東自動車㈱ シェイアールバス関東㈱ 宇都宮ライトレール㈱（予定）
★ 群馬県	noibe (ノルベ)	令和4年3月	上信電鉄㈱ 群馬中央バス㈱ 日本中央バス㈱ 日本中央交通㈱ ㈱群馬バス ㈱矢島タクシー 永井運輸㈱

★ ほぼ全県をカバーするかたちで導入

3

3

【参考】各決済方式の比較

企画振興部
交通政策課

	10カード互換	利用	処理速度	導入コスト	定期券対応
地域連携IC カード	互換性あり	◎ 改札機にタッチ	◎ 約0.2秒	比較的高額	バス 鉄道（JR東）
QR決済	互換性なし	アプリ起動必要	約1.0秒 +アプリ操作時間	比較的安価	バス 鉄道
クレジットカード 非接触決済 (VISAのタッチ 決済等)	互換性なし	◎ 改札機にタッチ	○ 約0.35～0.5秒	比較的安価	非対応

4

4